

# 福岡市 情緒障がい、LD・ADHD等 通級指導教室について



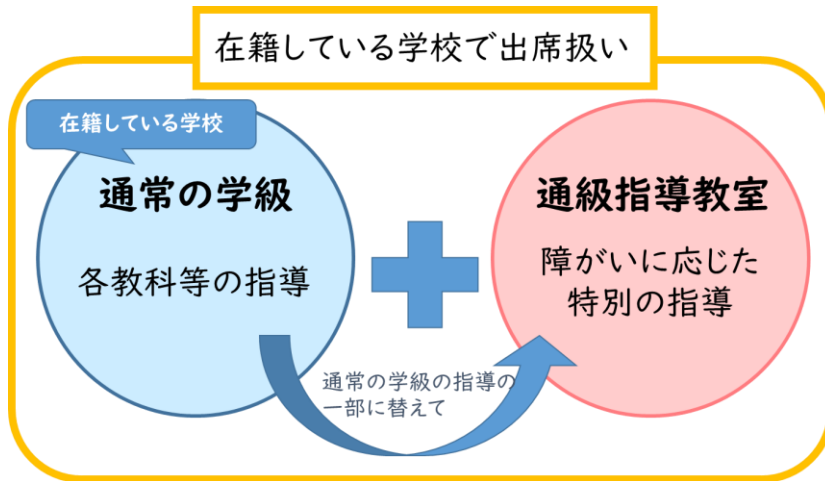
福岡市発達教育センター

令和4年5月(改)

# 情緒障がい、LD・ADHD等通級指導教室とは

自閉スペクトラム症や、LD・ADHDなど、それぞれ苦手さがある子どもたちに対して行われる教育形態の一つです。

各教科等の指導は主として通常の学級で行いながら、1週間に一度、通級指導教室で個に応じた特別の指導(自立活動を中心とした指導)を行います。



## どこで通級指導を受けるの？



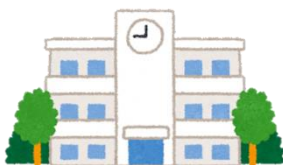
決められた曜日の決められた時間に、保護者の付き添いのもとで通級指導教室のある学校に通います。子どもたちが在籍する自分の学校から、通級指導教室の設置校に通うスタイルを、**拠点校方式**と呼んでいます。

### 拠点校方式のメリット

- ・ 施設や設備、教材・教具が充実しています。
- ・ 同じ時間に通級してくる子どもたちで、子ども同士が関わり合う小集団の学習を組むことができます。
- ・ 指導後の面談を行うことで、今後の学校活動や家庭生活に活かせることが増えます。

**※子どもへの指導と保護者面談を行います。保護者の付き添いが必要です。**

### 在籍している学校



決められた曜日・時間に  
週に1回2時間の授業分

### 通級指導教室設置校



# どのような子どもが通級しているの？



## 注意欠如多動性障がい(ADHD)

### 不注意

集中が続かない

うっかり

### 多動性

よくしゃべる

よく動き回る

### 衝動性

ついしゃべる

つい手が出る

## 自閉スペクトラム症など

### 社会性

暗黙のルールや

常識の理解が苦手

### 対人性

相手の立場で

考えることが難しい

### 想像力

空気を読めない

見通しが立たない

こだわりが強い

### 感覚過敏

行動や気持ちのコントロールの苦手さ

コミュニケーションの苦手さ

読み書きなど特定の学習へのつまずき

など...

1人1人の実態に応じた適切な指導を行うとともに、在籍する学級への理解を促し、安定した学校生活や日常生活を送ることができるようにします。

## 情緒障がい、LD・ADHD等通級指導教室はどの学校にあるの？

詳しくは、福岡市発達教育センターホームページ  
『就学相談会について』

1. 概要 ①リーフレット(pdf.)をご覧ください。

<http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/sodan.html>



保護者の付き添いで設置校まで通います。

※ 近隣の学校や付き添いしやすい学校を考慮して通級校が決定します。

※ 卒業生の人数などの教室の状況により、最寄りの学校にならないこともあります。

## 通級に入る手続きや流れ、指導の継続については？



通級に行っている間の学級での学習は、受けられません。苦手さに合わせた学習に取り組むメリットと、クラスでの授業を抜けるデメリットを在籍校と十分に検討しましょう。

新1年生と在校生では通級に入るまでの主な流れが違います。

### 通級に入るまでの主な流れ(新1年生)

就学相談会  
に参加

お子様の教育的ニーズに合った学びの場について検討し、通級指導が適切と判断されたら**通級候補者**となり、「通級候補者の相談会」へご案内します。

通級候補者の  
相談会  
に参加

再度、緊急性や必要性などを検討し、**通級対象者**に決定します。

通級決定

**3月頃**、通級する教室が決定し、4月から1年間の通級指導が始まります。

## 通級に入るまでの主な流れ(小1~小5)

申し込み前の  
確認

医師による障がいの診断名(発達障がい・限局性学習症等)が、申し込み期限日までに必要となります。  
※ 診断書を提出する必要はございません。  
※ 「〇〇障がいの疑い」との診断を受けている場合も受付しております。

通級コース  
に申し込み

- 学校と保護者の申し込み資料と、発達検査等の結果を参考に書類選考をします。
- 発達検査が必要と発達教育センターが判断した場合は、学校を通して検査の案内を通知します。
- 通級指導が適切かどうかを書類選考で審査し、「通級候補者の相談会」の対象か対象外かを、学校長を通して保護者へ通知します。

通級候補者  
の相談会  
に参加

- 再度、緊急性や必要性などを検討し、通級対象者に決定します。
- この時に通級する教室(学校)の希望をうかがいます。

通級決定

**3月頃**、通級する教室が決定し、4月から1年間の通級指導が始まります。

## 指導の継続・終了の判断について

保護者・在籍する学校・通級指導教室がそれぞれに通級指導の必要性を検討し、3者の意見を総合して、1年ごとに終了が可能か判断します。

例1:本人の成長や環境の変化で通級の必要性がなくなった。

例2:学校や家庭の生活の中で、困る場面が減ったり、困る場面があっても対応できるようになったりした。

令和3年度より、指導開始から**3年間**を指導継続の区切りとし、原則、指導終了といたします。

4年目以降の指導を希望する場合は、通級コースへの申込み、「通級候補者の相談会」への参加が必要となります。

3年間という期間の中で通常学級での適応力が高まったお子様については終了といたしますが、通級の必要性・緊急性が高いと判断されれば、4年目以降でも指導継続となります。

※ 卒業前に指導終了となることが多いです。



# 具体的にはどのような学習をするの？

お子様の状態や各教室の状況に応じて、指導の内容・方法に多少の違いがあります。

## 主な取り組み

- (1) ソーシャルスキルトレーニング
- (2) 運動学習
- (3) 認知学習

## (1) ソーシャルスキルトレーニング (社会性を育む学習)

学習のマナー ゲーム的な活動 自分を振り返る学習 気持ちの表現方法 など

### 例) 学習のマナー



自分や周りの人が良い気持ちで過ごすために大事なことをポスターのように貼っています。

通級で気を付けることは、学校や家庭でも同じで、意識しているとほめられる機会が増えるようになっていきます。



### 例) 気持ちの表現方法



作戦会議やルール決めなど、話し合う活動で気持ちの伝え方や相手の意見の受け入れ方の練習も行います。

協力や対戦などの要素を取り入れたゲーム的な活動を通じて、友だちとうまくかかわる経験につながるように取り組めます。



## (2) 運動学習

体の動かし方 ルール理解 など

### 例) 体の動かし方



動きに応じた力の入れ方や、身体の使い方について学習します。

小集団で活動する時には、友だちの様子を見て、良さに気が付くことや、相手に注目することにも取り組みます。

## (3) 認知学習

自分に合った学習の仕方 ビジョントレーニング 得意なことに取り組む活動 など

### 例) ビジョントレーニング



黒板を見続けたり、先生の話に集中したりするなど、授業中に感じる苦手さに対応するための学習をすることもあります。

目だけ動かす練習や、必要な音を選択して聞く練習など、個に応じた課題に取り組みます。



## どんな教室で学習するの？

- 1人1人に合わせた学習ができるように、広さが違う教室があります。
- 担当の先生と1対1での学習を行うために、各教室に机とホワイトボードを設置しています。
- 教室内に仕切りや壁を設置して、周囲の様子が気にならないような工夫をしています。
- ペアやグループを編成して運動に取り組む時には、広い部屋に集まります。

### ペアや話し合い活動



2人で関わり合う活動や、4~5人で集まって、話し合い活動などを行うことがあります。簡単な運動を行うこともあります。

読書コーナーを設定するなど保護者面談中の待機スペースとして使用することもあります。

### 小グループや運動



マット運動や跳び箱など、体育の学習の内容に合わせた活動が可能な広さの教室で、小グループでの活動を行います。

部屋全体を使って、フットサルやバドミントンなどをすることもあります。

### 1対1の活動



机に向かって学習する場面では、机と椅子だけを設置した小さな部屋を使います。

一つの教室に、ついたて等で仕切りを設置して周りの様子が見えにくくなるように工夫している場合もあります。





## どのくらいの時間、学習するの？

学校の時間割で2時間分が学習の時間です。通級指導を受ける前後の移動の時間も含めて、在籍する学校での授業は受けられませんが、遅刻や欠席ではなく出席扱いです。

通級指導教室と調整し、1年間、決められた曜日と時間に学習します。

### 通級担当者の週の指導(例)

	月	火	水	木	金
1	A児	D児	G児	I児	L児
2					
3	B児	E児	H児	J児	M児
4					
	運営会議	教育相談	ケース会議	運営会議	研修
5	C児	F児		K児	
6			会議 研修 教育相談		指導記録の まとめ

### <L児の通級での基本スケジュール>

柔軟に変更しながら指導します。

時間	内容	本人	保護者
8:40までに通級に登校			
8:40	①スケジュール確認		
8:50	②認知学習		
8:10	③運動学習		
8:30	④ソーシャルスキルトレーニング		
9:45	⑤振り返り		
10:10	帰りのあいさつ		
	3時間目までに 在籍学校へ。		保護者面接

## 通級と家庭や学校の連携はしているの？



家庭と学校、通級が子どもの良い姿を共有するための連絡ノートを活用します。例えば家でがんばったこと、ほめられたことが担任や通級に伝わり、改めてほめられる流れができます。

保護者は、別室からモニターで指導の様子を見ます。

面談では、指導の内容や一週間の様子などについて話します。

本人・  
保護者

在籍校に通級担当が訪問し、学校での様子を見たり、支援について検討したりします。出前授業で難聴について話すこともあります。

年に2~3回、連絡会を通級設置校で行い、支援に関する研修を行います。

通級担当

在籍校  
担任

